



特別史跡 名古屋城
西の丸御蔵城宝館
NISHINOMARU OKURA MUSEUM

名古屋城 西の丸御蔵城宝館 特別展

名古屋城と

相応寺

— 家康を愛した女性
相応院の眠る寺



相応院本堂杉戸絵 江戸時代前期 前期展示 相応寺蔵

令和6年 12月21日[土] →
令和7年 2月24日[月・祝]

※会期中、一部作品の展示替えを行います。

会場：名古屋城 西の丸御蔵城宝館

開館時間：午前9時～午後4時30分（最終入館 午後4時）
ただし、催事等により変更となる場合があります。

休館日：会期中は無休（ただし、12月29日(日)～31日(火)は休館）

入館料：入館無料
*名古屋城観覧料500円（名古屋市内在住65歳以上100円・中学生以下無料）が必要です。

主催：名古屋城総合事務所 名古屋城調査研究センター

協力：一般財団法人 名古屋城振興協会

特別協力：相応寺



愛知県指定文化財 旧相応寺障壁画 松栢園模写 後期展示 名古屋市博物館蔵

名古屋城と

相応寺

— 家康を愛した女性
相応院の眠る寺

令和6年 12月21日[土] ↓ 2月24日[月・祝]

令和7年

前期：12月21日(土)～令和7年1月23日(木)

後期：1月24日(金)～2月24日(月・祝)

会期中展示替します。詳細は名古屋城公式ホームページでご確認ください。



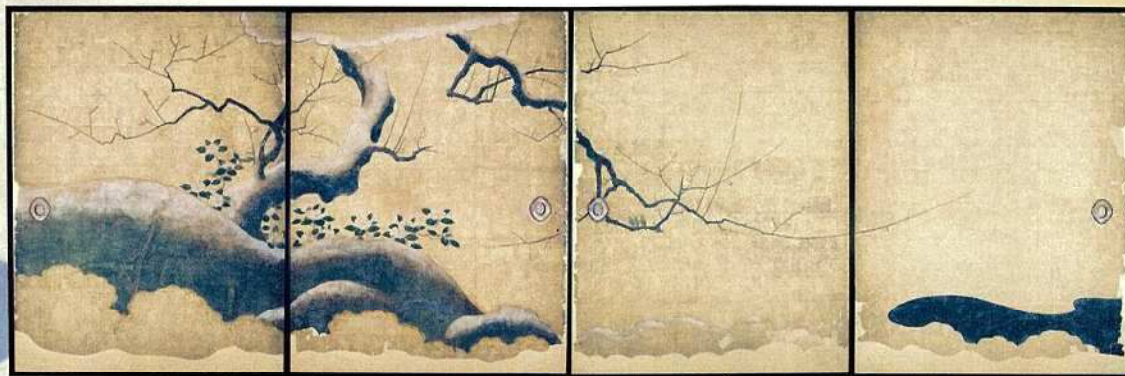
相応院お亀の方(1573～1642)は、尾張徳川家の基礎を築いた女傑です。徳川家康の側室となり、のちの尾張藩初代藩主義直をもうけます。家康とともに駿府城で義直を慈しみ、家康が亡くなると剃髪して相応院と号し、名古屋城に入り藩主義直を支えました。

寛永19年(1642)、相応院は没し、菩提寺として宝亀山相応寺が建立されました。相応寺には、義直が描いた相応院の画像が伝えられ、創建時にさかのぼる貴重な障壁画も現存します。

令和6年、それら相応寺所蔵の絵画や仏画・仏像、本堂・総門・山門などが名古屋市指定有形文化財に指定されました。それを記念し、障壁画を中心とした相応寺の寺宝を公開いたします。生前の相応院を取り巻いていた、豪華な空間をお楽しみください。



旧相応寺障壁画 花鳥図屏風 左隻 後期展示 名古屋市博物館蔵



愛知県指定文化財 旧相応寺障壁画 梅棹図横絵 前期展示 名古屋市博物館蔵



菅原道安 徳川家康
有徳有義 徳川家康
貞宗山崎 桑田氏誼
半寂誠教 時評氏門
信心堅固 弓土氏治
良言遺像 松徳直亮
定者如衣 千歳千代
以教不忘 何忘此恩



名古屋城西の丸御蔵城宝館 交通アクセス

地下鉄/名城線「名古屋城」下車7番出口から東門まで徒歩5分、
東門から徒歩10分

市バス/栄13号系統(栄～安井町西)「名古屋城正門前」、
なごや観光ルートバス「メーグル」名古屋城」下車正門まで徒歩1分、
正門から徒歩2分

お問い合わせ

名古屋城総合事務所
〒460-0031 名古屋市中区本丸1番1号 TEL(052)231-1700
<https://www.nagoyajo.city.nagoya.jp/>